

パリふらんす語ラボ

あなたのフランス語の発音は心配ない？

「伝わる発音のためのチェックリスト」

フランス語の発音の基本構築 1ヶ月オンラインプログラム
チェックシート

初めに

これを見てくださっているということは、あなたは
フランス語を話す時の発音の大切さを、感じられているのだと思います。

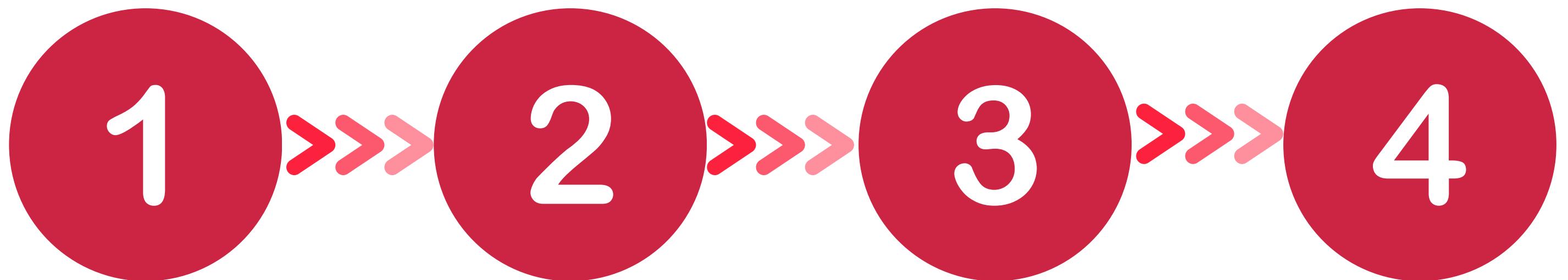
- フランス語を話しているときに、なかなか通じなくてそれは**自分の発音のせいじゃないか**と思う
- フランス語を習い始めたけど、**発音が難しくてなかなか学習が進まない**
- フランス語の先生には伝わっているみたいだけど、本当に私の発音は**伝わる発音**なのかな？

などと、日々、疑問も感じてられるかもしれません。

そんなお悩みを解決するために、今回、**伝わる発音のためのチェックリスト**を作りました。**今の自分の力を客観的に知ることは、前に進むためには必須です。**ここでチェックされて、その後に解決法もお知らせしますので、ご参考にしていただけましたら幸いです。 それではどうぞ！！



レベル1



綴り字の
読み方

音
母音
子音

韻律
メロディー

リエゾン
アンシェヌマン

*この順番でチェックします。該当数を数えてくださいね



1. 繰り字の読み方

■ 語末の子音の発音の法則を知らない

chat ~~×~~シャット blanc ~~×~~ブランク

■ 語末の e を発音している

table ~~×~~ターブレ ターブル chambre ~~×~~シャンブレ シャンブル

■ 子音の後に不要な母音を入れている

s'il vous plaît ~~×~~ シルヴプレ bonjour ~~×~~ボンジュール など

■ nomをノム と発音している

■ réservé をレザーヴェ と発音している

1. 繰り字の読み方

- ou、 ai、 au、 eu など、母音が組み合わさった時の読み方が分からない
- information をインフォメーションと発音している
- é、 è、 ù、 など、アクソンがついている時とついてない時はどう違うの？ 
- travail の読みは、トラバイル？
- déguiser の読みはデギュイゼ？

2. 音 (母音、子音)

VとBの発音が区別できていない

V: 上の歯と下唇を軽く当てて振動させる音。

B: 一度両唇を閉じて離しながら出す音。

チェック方法: 鏡を見て口の形と振動を確認。

RとLの発音が区別できていない

R: 喉の奥で摩擦音を出す（日本語の「ら行」とは全く異なる）。

L: 舌先を上の歯茎に当てて、舌の両脇から空気を逃すような発音。

チェック方法: 「lit」と「riz」の明確に違いは出ているか？

英語の'r'のような発音になっていないか？

OUとEUの区別ができる

OU: 唇を丸め、暗い音（舌が後ろ）

EU: 唇をやや突き出し、「エ」と「ウ」の中間音。（舌は前）

チェック方法: 「douze euros」と「deux euros」の違いは出ているか？

2. 音 (母音、子音)

■ Uを「ユ」と読んでいる

U: 唇を小さく丸めた状態で「イ」の音を発音。

チェック方法: 「bu」を伸ばした時に、その伸ばしている母音が、日本語のウーでないか？

■ 鼻母音がカタカナ読み

鼻母音: 鼻を響ひかせる／1音節だけのカウントになる

チェック方法: 「vin」や「nom」が、ヴァン、ノンなど2音節でないか？

■ en an をアンと発音している

enfant アンファン など

3. 韻律（メロディー）

■ フランス語のリズムを知らない

各音節の間隔は等しい？リズムカルに伸び縮みする？

■ フランス語のイントネーションを知らない

日本語より平坦？上下が激しい？どこで上がり、どこで下がる？

■ フランス語のアクセントのおき場所を知らない

フランス語のアクセントはどこに置く？強い？長い？音程が上がる？

■ 伝わるフレーズの区切り方を知らない

適当に好きなところで切っている、または意識したことがない

4. リエゾンとアンシェヌマン

- リエゾンが何かを知らない
- 必ずリエゾンする場所を知らない
- リエゾンして読むトレーニングをしたことがない
- アンシェヌマンが何かを知らない
- アンシェヌマンして読むトレーニングをしたことがない



チェック完了！

いかがでしたか？

今から、チェック数から
あなたの発音の伝わる度を見ていきましょう！

各ステップ毎のアドバイスも一緒に
お届けしていきます。



1. 綴り字の読み方

こここのチェックに**4個以上当てはまつたあなたは、**

フランス語の綴り字と読み方の基本を知らないので、自己流のフランス語を話したり、読んだりてしまっているかも。

この場合、フランス語を話した際、読んだ際、相手に理解されないかもしれません。

綴り字と読み方の基本を知らないと、声に出す場合だけでなく、綴りを書く時、覚える時、教科書を読む時、読解する時、全てに影響します。

どんなに勉強に時間をかけても、ブレーキをかけた車を押す状態で、思うように進めません。



1. 細り字の読み方

どうすればいい？

1. フランス語のこう書かれた時には、こう読む、という綴りの基本を覚えましょう。大抵の参考書の初めの方に書いてあります。面倒くさい作業ですが、そんなに驚くほどの量はありません。覚悟を決めて覚えててしまうと、後がグッと楽になります。
2. フランス語の綴り字と読みの関係は、とても規則的です。一度覚えてしまえば、あとは意味がわからなくとも読めてしまうほど。
3. ですので、単語を聞いただけである程度書けるようになるし、綴りを想像しやすくなるので、聞いてわからなかつた単語を辞書で引いて意味を調べる、ということも可能になります。



2. 音 (母音、子音)

こここのチェックに**3個以上当てはまつたあなたは、**

フランス語の独特的の音の発音を知らないので、一生懸命話しているのに、伝わらない、誤解されることがあるかもしれません。いちいち聞き返されるので、もう話すのが嫌になってしまっているかもしれませんね。

特に日本語の発音をそのままフランス語に置き換えていると、違う意味になったり、聞いている人が疲れてしまったり、と文法的にも語彙的にも正しく話すための努力をしていたとしても、報われていない可能性があります。



2. 音 (母音、子音)

どうすればいい？

1. フランス語の綴りと同時に、**正しいフランス語の母音や子音の発音の仕方**を覚えましょう。意外と数も少なくて、いくつかポイントを押さえれば、伝わる発音になるのは難しくありません。
2. そして、**今すぐ、正しい発音の仕方を覚えることをお勧めします**。間違えた音で発音している期間が長ければ長いほど、矯正には時間がかかります。フランス語を始めたばかりの人の方が、10年間間違った音で話し続けてきた人より、楽に発音を直すことができます。
3. フランス語ぽい音が出せるようになると、話したり音読したりするのが楽しくなるので、勉強もはかどります！



3. 韻律（メロディー）

こここのチェックに**3個以上当てはまつたあなたは、**

フランス語の独特的メロディーを意識していないので、**例え正しい音で発音していたとしても、理解してもらえる率が低いかもしれません。**それだけ、フランス語のリズムとイントネーションは大切です。実際、音より大切、言われることもあります。

日本語の影響で無意識に、**本来は存在しないところに母音を入れたり、存在する母音を省略したり、とリズムが崩れたり、イントネーションもフランス語的でない上下を繰り返したり、**と、相手に分かりづらい話し方をしてしまっているかもしれません。



3. 韻律（メロディー）

どうすればいい？

1. フランス語のリズムとイントネーションの**基本**を覚えます。伝わるようになるための基本はそんなに複雑ではありません。
2. そして、フランス語の音と同様、**今すぐ、正しいリズム、イントネーションを意識&直すこと**をお勧めします。違うリズム、イントネーションで発音している期間が長ければ長いほど、矯正には時間がかかります。
3. フランス語のネイティブの音声を真似することも効果的ではありますが、真似しているつもりでも**意外と自己流**なことが多いです。定期的に録音して確認することをお勧めします。



4. リエゾンとアンシェヌマン

こここのチェックに**3個以上当てはまつた**あなたは、

フランス語の独特的リエゾン、アンシェヌマンのせいで、**聞き取りができない！**いつもそのせいで言われたことが、分からなくなってしまう！書いてもらえば分かるのに！と悔しい思いをされているかもしれません。

また話す時にも、リエゾンすべきところをせずに、通じなかつた！どこをリエゾンすればいいか分からず、**自信を持って話せない**。先生にアンシェヌマンなど直されるけど、基本がわかっていないので**自分で再現できない**。というお悩みを持っているのではないでしょうか。



4. リエゾンとアンシェヌマン

どうすればいい？

1. リエゾンには、「必ずしないとならないケース」「どちらでもよいケース」「してはいけないケース」の三つがあります。最初に、「必ずしないとならないケース」を覚えます。まずはこれだけ覚えておけば、間違いにはならないですし、沢山あるケースを全部一気に覚えないと！というストレスが減ります。
2. リエゾンは、考えながらだととっさ使うことができないので、ある程度口から**自動的に出てくるように**、トレーニングしていく必要があります。リエゾンしないと変だな。と感覚的に思えることが必要です。
3. アンシェヌマンも意識してトレーニングし、身体に馴染むようになると、リスニング力も飛躍的に上がります。



最後に

今回の伝わる**発音のためのチェックリスト**はいかがだったでしょうか。
あなたの、発音に関する課題が具体的になつたことと思います。

意外と私、**発音のこと分かってた！**と思われましたら、自信をもつて、堂々と話していってください。

この部分が不足してるんだ！と分かったら、
そこを集中的に**学習&トレーニング**してください。

でも、どんなふうに何を使って**学習とトレーニング**をしたらいいの？
と思われたら、今回ご紹介する**1ヶ月のオンラインプログラム**をご利用いただけたらと思います。

詳細は次ページに **>>>**



フランス語の基本会話&発音 1ヶ月オンラインプログラム

今回ご紹介するフランス語の発音の基本構築 1ヶ月オンラインプログラムは、短期間で

- ・フランス語の読み方と発音の基本
- ・フランス語の基本会話のテンプレート

を学びトレーニングできる、教材になります。

- ・オンラインの動画レッスンで、手軽に好きな時に学べる
- ・期限なくご覧いただけるので、発音が基礎から繰り返し学べる

完全に自主的に学んでいただけることから、通常当ラボが提供しているコーチングコースより、かなりお得な価格でご利用いただけます。



フランス語の基本会話&発音 1ヶ月オンラインプログラム

1. フランス語の発音ルール（母音・子音、リエゾン、イントネーション）。
2. 実践的な会話テンプレート40ブロック200フレーズ（A1レベル対応）。
3. 発音練習ビデオ付きトレーニング。
4. 発音を改善するための具体的な練習法と進行プラン。
5. 日本語話者に特化したフランス語発音ポイントの解説。

フランス語の発音と会話の基礎を固めるために最適のプログラムです。

詳細はこちらより

https://parisflabo.mykajabi.com/kihon_programme

ご不明な点、ご質問などは公式LINEの方にお気軽のお寄せください。



最後に

一緒に学べる機会を楽しみにしています！



フランス語会話発音コーチ 小林まみ

- パリ在住31年
- フランス語講師歴20年
- フランス語MVT発音コーチ
- フランスでボーカルコーチ資格
- フランス語本の著者
学研から「絵で楽しむフランス語」など
- 発音の改善で98%の受講生が
『自信を持てるようになった』と回答！
- **発音 × 発声 × コミュニケーションコード**で
明瞭な発音を目指す独自メソッドを提供